

令和4年度（第2次補正）二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金  
（地域脱炭素実現に向けた再エネの最大限導入のための計画づくり支援事業）  
第2回審査委員会総評

■第1号事業の1：地域の再エネ目標と意欲的な脱炭素の取組の検討による計画策定支援事業

概ね、評価は以下のとおり。

- ・2050年までの脱炭素社会を見据えた適切な再エネ導入目標を、地域の現状分析を踏まえ作成している申請を高く評価した。
- ・脱炭素施策を通して地域課題の解決に取り組む申請を高く評価した。
- ・目標策定及び脱炭素に取り組む推進体制に様々な地域関係者、特に地域金融機関を含めることで、中長期的な計画の実行性を高める工夫がみられる申請を高く評価した。

■第1号事業の3：公共施設等への太陽光発電設備等の導入調査支援事業

概ね、評価は以下のとおり。

- ・地域脱炭素ロードマップ等に位置付けられた率先導入目標（2030年には設置可能な建築物等の約50%に太陽光発電設備を導入等）の達成を見据えた調査を想定している申請を高く評価した。
- ・本事業の趣旨に沿って具体的かつ説得力ある調査を検討しているものの、検討施設数には申請ごとに大きな差が見受けられた。

■その他

- ・本補助事業を通じて、各地方公共団体の地域に根ざした目標が策定され、地方創生とともに課題の解決につながることを期待したい。
- ・本補助事業を通じて、地域脱炭素及び再エネに関する知識が各地方公共団体に定着し、さらなる取組が生まれることを期待したい。
- ・計画の策定を通じて、各地域の特性を生かした脱炭素の具体的な取り組みが数多く生まれ、実践されていくことに期待したい。
- ・事業期間確保の観点から、本採択公表後、速やかに交付申請を行い、事業に取り掛かることが望ましい。

以上